



平成19年5月28日

記者発表資料

宮崎の5年で見える道づくり 「ちやく²プロジェクト」

～選択と集中、無駄なくスピーディーにサービス提供～

1. 「ちやく²プロジェクト」について

◆「ちやく²プロジェクト2006」の達成状況

- ・ 昨年公表した目標の達成度を評価
- ・ 各事業の進捗状況、事業の効果を詳しく報告

◆「ちやく²プロジェクト2007」の目標

- ・ 投資効果の高い道路事業の集中的・重点的な整備
- ・ 目標達成に向け、プロジェクト管理を強化
- ・ 今後5年間で、約12.3kmの道路供用を目標
- ・ また、交通安全事業などで約4.4kmの道路整備と4箇所の交差点改良などを実施
- ・ 併せて、電線共同溝、防災対策、震災対策を推進

2. 九州地方整備局道路事業の進捗状況について

- ◆ 九州地方整備局のホームページにおいて、九州管内の進捗状況や用地取得の状況などをお知らせ

【 問 い 合 わ せ 先 】

■国土交通省九州地方整備局

◆宮崎河川国道事務所 (TEL: 0985-24-8502)

道路副所長	岩山 順一
工務第三課長	山口 隆
調査第二課長	次郎丸 敬太

◆延岡河川国道事務所 (TEL: 0982-31-1155)

道路副所長	田中 秀之進
工務第二課長	小串 俊幸
調査第二課長	沓掛 孝

九州の5年で見える道づくり「ちやく²プロジェクト 2007」

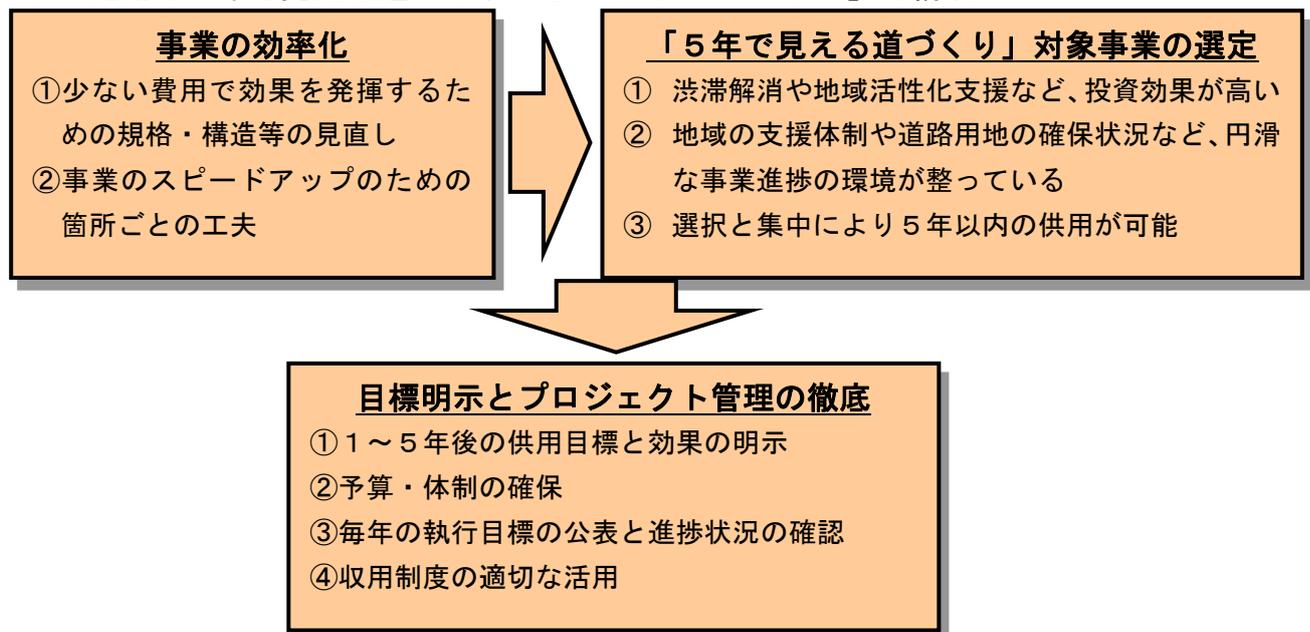
～選択と集中、無駄なくスピーディにサービス提供～

1 理念

利用者に見える道づくりを目指し、供用目標・効果の明示と進捗管理

- ① 厳しい財政的制約を踏まえ、効果の高い事業の集中的・重点的な整備を進めます
- ② 規格の見直し、事業のスピードアップなど総合的なコスト縮減に取り組みます
- ③ 選択と集中により5年以内に供用が可能な事業を選定し、供用目標と効果を明示します
- ④ 供用目標の達成に向けて、予算・体制の確保、毎年の進捗状況の確認、用地確保のための収用制度の適切な活用など、プロジェクト管理を徹底します

◆ 九州の5年で見える道づくり「ちやく²プロジェクト」の構成



- ・ 九州地方整備局では、「5年で見える道づくり」の考え方にに基づき、着実に重点的に整備する事業を「ちやく²プロジェクト」（“ちやくちやくプロジェクト”＝通称“ちやくプロ”）として選定しています。
- ・ 「ちやく²プロジェクト 2007」には、平成19年5月現在で、事業中の箇所のうち対象事業の要件を満たす事業区間箇所を選定しました。
- ・ 今回選定しなかった事業についても、今後の進捗状況に応じて適宜追加していく予定です。
- ・ 供用目標は、平成19年度予算とほぼ同程度の道路整備予算が確保されることを前提とした設定です。今後、予算規模が大きく変動した場合には見直しが必要となる場合があります。

九州の5年で見える道づくり

ちやく²プロジェクト

2006 / 2007

○ちやく²プロジェクト 2006

—目標の達成状況—

○ちやく²プロジェクト 2007



平成19年5月28日

国土交通省九州地方整備局

宮崎河川国道事務所 延岡河川国道事務所

九州の5年で見える道づくり

ちやく²プロジェクト

2006 / 2007

【 目標の達成状況 】



平成19年5月28日

国土交通省九州地方整備局

宮崎河川国道事務所 延岡河川国道事務所

九州の5年で見える道づくり

ちやく²プロジェクト

2006/2007

(達成状況一覧表)



「ちやく2プロジェクト2006」達成状況一覧（宮崎県）（1/4）

路線名	事業区間	延長	平成18～22年度の供用目標		事業効果	平成18年度の執行目標	担当事務所
改築事業							
国道10号 門川日向拡幅	東臼杵郡門川町 ～ 日向市大字平岩	12.8km	H19年度 新生町交差点付近（延伸） (H17年度末4/4車線供用済 L=10.1km)	0.4km 4/4車線供用 (4車線拡幅)	・交通混雑の緩和 ・主要渋滞ポイントの解消 ・事故危険箇所の改善	・用地取得率98%	延岡河川国道
△目標未達成(供用目標保持)		△用地取得難航により用地取得目標が未達成					
国道10号 新富バイパス	児湯郡新富町 ～ 宮崎市佐土原町	4.8km	H19年度 軍瀬交差点付近 H21年度 児湯郡新富町（田中地区） (H17年度末2/2車線供用済 L=2.4km)	0.6km 4/4車線供用 (4車線拡幅) 0.8km 4/4車線供用 (4車線拡幅)	・新富町～宮崎市の交通混雑解消 ・主要渋滞ポイント「軍瀬交差点」 の交通渋滞解消 ・時間短縮効果 約19万人時間/年	「H19供用区間」 ・改良工事着手 ・用地取得完了 「H21供用区間」 ・用地取得率55%	宮崎河川国道
「H19供用区間」 △目標未達成(供用目標保持)		○目標通り改良工事に着手 △用地交渉難航により用地取得目標が未達成					
「H21供用区間」 △目標未達成(供用目標保持)		△建物移転に時間を要したため用地取得目標が未達成					
国道10号 花見改良	宮崎市高岡町 宮水流 ～ 同市高岡町花見	2.0km	H18年度 宮崎市高岡町花見 (H17年度末2/4車線供用済 L=0.7km)	1.3km 2/4車線供用 (全線供用)	・交通混雑緩和による宮崎市への通 勤、通学のアクセス向上 ・花見橋の架け替えによる車両の大 型化、防災基準への対応 ・時間短縮効果 約31万人時間/年	・1.3km区間 2/4車線供用	宮崎河川国道
○目標達成		○平成19年2月25日供用					
国道10号 都城道路	都城市乙房町 ～ 同市五十町	7.7km	H21年度 都城市平塚町～同市五十町	1.9km 2/4車線供用	・都城市～志布志間の物流の効率化 ・都城市街地の交通混雑解消と道路 冠水箇所の迂回路確保	・用地取得率78% ・埋蔵文化財調査促進40% ・改良工事着手	宮崎河川国道
△目標未達成(供用目標保持)		○目標通り用地取得が進捗 △調査予定範囲内の用地未取得及び明け渡し遅延により埋蔵文化財調査目標が未達成 ○目標通り工事に着手					
国道218号 九州横断 自動車道 延岡線関連 北方延岡道路	延岡市北方町 ～ 延岡市天下町	13.1km	H19年度 北方IC～舞野 (H17年度末2/4車線供用済 L=2.1km)	6.4km 2/4車線供用	・緊急輸送道路1次ネットワークの 機能確保 ・所要時間短縮 ・延岡市と周辺地域の連携強化 ・時間短縮効果 約22万人時間/年	・用地取得率98% ・小川1、2、3号トンネル完成 ・曾木3号橋上部工着手	延岡河川国道
△目標未達成(供用目標保持)		△用地交渉難航により用地取得目標が未達成 ○小川1、2、3号トンネル完成、曾木3号橋工事に着手					
国道220号 青島～ 日南改良	宮崎市加江田 ～ 日南市風田	23.5km	H19年度 宮崎市折生迫～同市内海 (H17年度末2/2車線及び 2/4車線供用済 L=13.5km)	2.8km 2/2車線供用	・堀切峠付近の事前通行規制区間 (2.9km)の解除 ・道路防災総点検要対策2箇所解消 ・時間短縮効果 約15万人時間/年	・堀切トンネル本体工完了	宮崎河川国道
○目標達成		○目標通り堀切トンネル本体工完了					

「ちやく2プロジェクト2006」達成状況一覧（宮崎県）（2／4）

H19. 5. 28

路線名	事業区間	延長	平成18～22年度の供用目標	事業効果	平成18年度の執行目標	担当事務所
交通安全事業						
国道10号 土々呂毛 段差解消	日向市大字平岩	0.50km	H18年度供用 0.50km 段差解消	・平岩小学校、岩脇中学校、日向工業高校へ通う歩道のデコボコを解消することで、通学、帰宅時や地域住民の方が安心して快適な通行が実現	・工事完成 0.50km供用	延岡河川国道
×目標未達成（供用目標変更）		×地元調整が難航したため、供用目標を平成19年度に変更				
国道10号 都農付加車線・ 自歩道設置	児湯郡都農町都農	1.60km	H18年度供用 (H17年度末供用済 L=1.34km) 0.26km 全区間供用	・歩道を設けることで、歩行者、自転車、自転車が安心して快適な通行が実現 ・付加車線を設けることで、交通流をスムーズにし、周辺環境の改善	・工事完成 0.26km供用	宮崎河川国道
○目標達成		○平成18年8月29日供用（事業完了）				
国道10号 川南付加車線・ 自歩道設置	児湯郡川南町大字 川南	0.72km	H18年度供用 0.72km 全区間供用	・歩道を設けることで、歩行者、自転車、自転車が安心して快適な通行が実現 ・付加車線を設けることで、交通流をスムーズにし、周辺環境の改善	・工事完成 0.72km供用	宮崎河川国道
×目標未達成（供用目標変更）		×関係機関協議に時間を要したため、供用目標を平成19年度に変更				
国道10号 新名爪 交差点改良	宮崎市新名爪 (新名爪 交差点名)	1箇所	H18年度完成 1箇所 全区間完成	・路面表示（カラー化）により交通事故防止	・交差点改良完成	宮崎河川国道
×目標未達成（供用目標変更）		×関係機関協議に時間を要したため、供用目標を平成19年度に変更				
国道10号 江平1丁目 交差点改良	宮崎市江平1丁目 (江平一丁目 交差点名)	1箇所	H18年度完成 1箇所 全区間完成	・路面表示（カラー化）により交通事故防止	・交差点改良完成	宮崎河川国道
×目標未達成（供用目標変更）		×関係機関協議に時間を要したため、供用目標を平成19年度に変更				
国道10号 浦之名地区 歩道設置	宮崎市高岡町 浦之名	0.34km	H18年度供用 (H17年度末供用済 L=0.1km) 0.24km 全区間供用	・歩道を設けることで、歩行者、自転車、自転車が安心して快適な通行が実現	・工事完成 0.24km供用	宮崎河川国道
○目標達成		○平成19年3月12日供用（事業完了）				
国道10号 石山 車両停車帯	都城市高城町石山	1箇所	H18年度完成 1箇所 工事完成	・バス停車帯を設けることにより、交通処理能力の低下を防ぎ渋滞の削減 ・交通事故防止	・工事完成	宮崎河川国道
○目標達成		○平成18年12月18日完成（事業完了）				

「ちやく2プロジェクト2006」達成状況一覧（宮崎県）（3／4）

路線名	事業区間	延長	平成18～22年度の供用目標	事業効果	平成18年度の執行目標	担当事務所
交通安全事業						
国道220号 橋通2丁目 交差点改良	宮崎市橋通2丁目 (橋通二丁目 交差点)	1箇所	H18年度完成 1箇所 全区間完成	・事故が多発している交差点に右折車線を設け、追突事故等の削減	・交差点改良完成	宮崎河川国道
○目標達成		○平成19年2月27日完成（事業完了）				
国道220号 中村1丁目 交差点改良	宮崎市中村1丁目 (橋橋南詰 交差点)	1箇所	H18年度完成 1箇所 全区間完成	・既存右折車線を延伸することにより、直進車両阻害を回避し、交通渋滞の緩和	・交差点改良完成	宮崎河川国道
○目標達成		○平成18年10月31日完成（事業完了）				
国道220号 上恒久 交差点改良	宮崎市内上恒久 (上恒久 交差点名)	1箇所	H18年度完成 1箇所 全区間完成	・路面表示（カラー化）により交通事故防止	・交差点改良完成	宮崎河川国道
×目標未達成（供用目標変更）		×関係機関協議に時間を要したため、供用目標を平成19年度に変更				
国道220号 宮浦視距改良	日南市宮浦	1箇所	H18年度完成 1箇所 工事完成	・下り坂のカーブ区間にある法面を掘削することにより、国道、取付け市道間の視距を確保し、事故防止	・工事完成	宮崎河川国道
○目標達成		○平成18年12月22日完成（事業完了）				
電線共同溝事業						
国道10号 大塚地区	宮崎市大塚町	1.2km (両側)	H18年度 無電柱化完了	・宮崎市大塚地区の通学エリアにおけるバリアフリー化による安全で快適な歩行空間の確保及び防災機能の向上	・無電柱化完了	宮崎河川国道
○目標達成		○目標通り無電柱化完了				
国道10号 上町地区	都城市上町 ～ 都城市姫城町	0.6km (両側)	H19年度 無電柱化完了	・都城市上町地区の通学エリアにおけるバリアフリー化による安全で快適な歩行空間の確保及び防災機能の向上	・景観整備完了	宮崎河川国道
○目標達成		○目標通り景観整備完了				
国道220号 中村恒久地区	宮崎市中村東3丁目 ～ 宮崎市恒久	1.1km (両側)	H18年度 無電柱化完了	・中村恒久地区のあんしん歩行エリアにおけるバリアフリー化による安全で快適な歩行空間の確保及び防災機能の向上	・無電柱化完了	宮崎河川国道
○目標達成		○目標通り無電柱化完了				

「ちやく2プロジェクト2006」達成状況一覧（宮崎県）（4／4）

路線名	事業区間	延長	平成18～22年度の供用目標	事業効果	平成18年度の執行目標	担当事務所
電線共同溝事業						
国道220号 春日地区	日南市春日町	0.8km (両側)	H19年度 無電柱化完了	・日南市春日地区の通学エリアにおけるバリアフリー化による安全で快適な歩行空間の確保及び防災機能の向上	・電線共同溝設置完了	宮崎河川国道
○目標達成		○目標通り電線共同溝設置完了				
防災対策事業						
国道10号 四家地区 防災対策	宮崎市高岡町内山 ～ 都城市高城町 本八重	1.5km	H19年度 四家地区完了 〔H19年度1箇所防災工事完了〕	四家地区の異常気象時通行規制区間（連続雨量200mm）の基準緩和又は規制解除	・用地取得完了	宮崎河川国道
△目標未達成(供用目標保持)		△施工方法に再検討を要し用地着手時期が遅れたため、用地取得完了目標が未達成				
国道220号 宮崎～ 日南③地区 防災対策	宮崎県日南市宮浦 ～ 日南市風田	11.2km	H19年度 宮崎～日南3地区完了 〔17年度未対策済1箇所、 H18年度5箇所、H19年度11箇所防災工事完了 ※照査により6箇所は対策不要〕	宮浦・風田地区の異常気象時通行規制区間（連続雨量170mm）の基準緩和又は規制解除	・要対策箇所のうち5箇所完了	宮崎河川国道
△目標未達成(供用目標保持)		△現場条件の精査により、施工方法等の変更が生じたため、対策完了目標が未達成				
震災対策事業						
宮崎県内の 直轄国道 耐震補強	宮崎県内の 耐震補強	64橋	H18年度 19橋完了 H19年度 8橋完了 (H17年度未対策済37橋) ※照査により18橋は対策不要	緊急輸送道路の橋梁耐震補強3 箇年プログラム対象橋梁の耐震 工事完了 阪神大震災規模の地震に対して落橋 等の甚大な被害を防止し緊急輸送道 路としての機能を確保	・耐震対策 19橋完了	宮崎河川国道 延岡河川国道
△目標未達成(供用目標保持)		△耐震対策19橋のうち、3橋について関係者等との協議・調整に時間を要し発注時期が遅れたため、対策完了目標が未達成				

九州の5年で見える道づくり

ちやく²プロジェクト

2006 / 2007

(供用箇所²の整備効果)



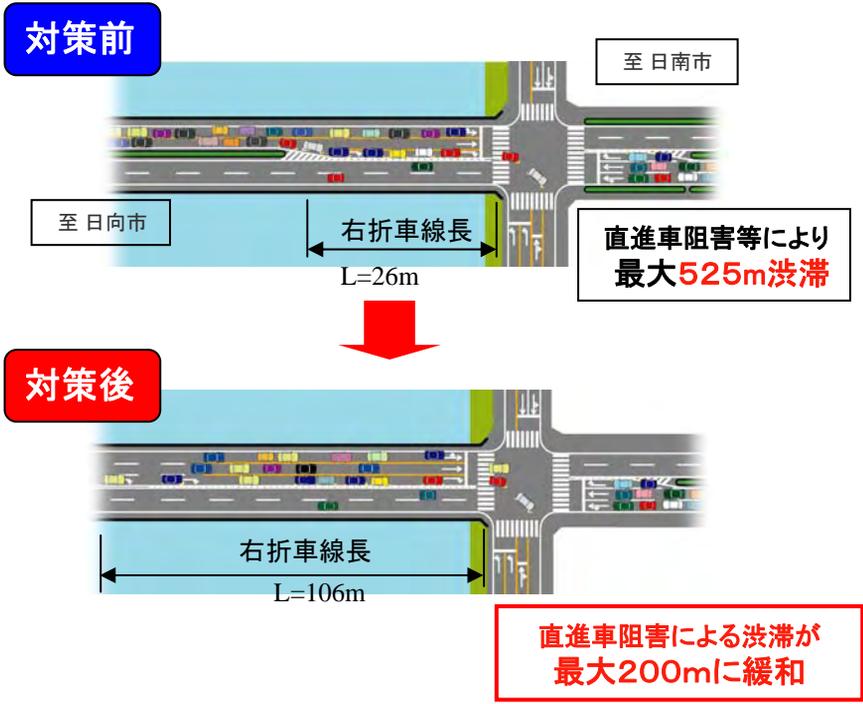
国道220号 宮崎市中村1丁目(橋橋南詰交差点)交差点改良 【H18. 10. 31完成供用】

事業概要

- ・橋橋南詰交差点は、宮崎市の中心市街地に位置しており、周辺には公共施設や商業施設があり、交通量も39,489台/日と多いが、特に下り線（日南市方面）の右折車が多く、右折車線長が不足し、あふれた車が直進車を阻害して、著しい渋滞を引き起こしている状況となっていました。
- ・この状況を改善するため、右折車線の延伸に着手し、平成18年10月31日に供用しました。

整備内容

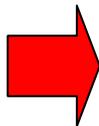
- ・日向市方向からの右折車線を80m延伸しました。



整備効果

渋滞緩和及び交通安全性の向上

- ・右折車線の延伸により、右折車により阻害されていた直進車の渋滞が（最大525m→最大200m）に緩和され、周辺環境が改善されます。



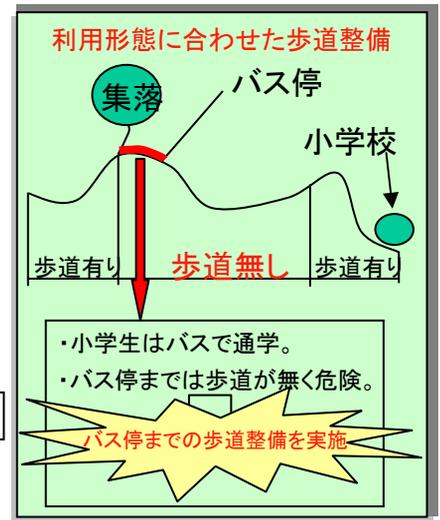
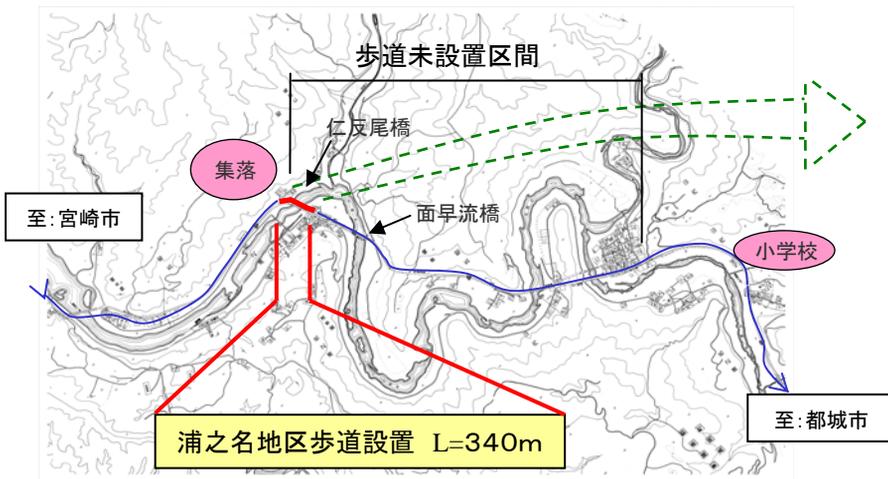
国道10号 宮崎市高岡町 浦之名地区歩道設置 【H19.3.12一部供用】

事業概要

- ・宮崎市高岡町浦之名地区は、仁反尾橋に歩道がなく、路肩も非常に狭く、また大型車の混入が多い区間であるため、児童や高齢者等の歩行者が危険な状態で通行をせざるを得ない状況となっていました。
- ・この状況を改善するため、橋梁部を含む歩道設置L=340mを着手し、平成17年度までにL=100mを供用しており、平成19年3月12日に残る区間L=240mを供用しました。

整備内容

- ・仁反尾橋に張り出し歩道（W=1.5m）を設置しました。



整備効果

安全・安心な歩行空間の確保

- ・仁反尾橋に利用形態に合わせた歩道を設置することで、高齢者や児童が安全で安心して通行できる歩行空間を確保することができました。

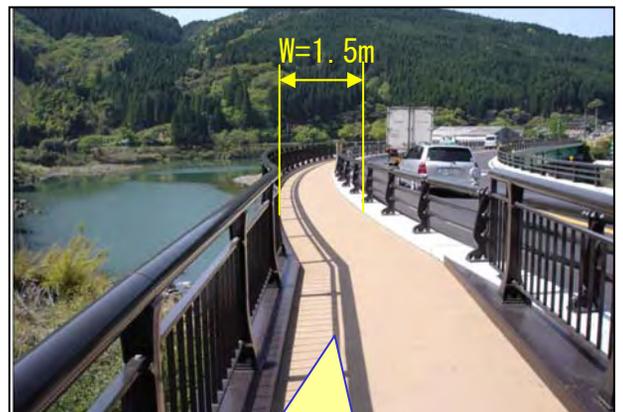
整備前



歩道が無く歩行者は
危険な路肩部分を
歩いている。

歩行者を避けるため、
大型車が対向車線に
はみ出している。

整備後



歩道を設置し、歩
行者・自転車の安全性
が確保されました！

国道10号 花見改良 【H19. 2. 25全線供用】

■事業概要

本道路は、富吉バイパスと高岡バイパスを連絡し、宮崎市高岡町内の交通混雑の解消を図るとともに、昭和25年に架設された大淀川を渡河する花見橋（老朽橋）の架け替えを目的とした宮崎市高岡町宮水流から同町花見にいたる延長約2.0kmの道路です。

これまでに、起点側の延長0.7km区間において暫定2車線で開通していましたが、今回、残る延長1.3kmの整備により全線が暫定2車線で開通しました。

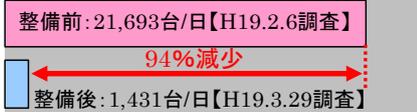


■整備効果

効果1 沿道の安全性が向上

- 交通量がバイパスに転換し、現道における歩行者等の安全性が向上しました。

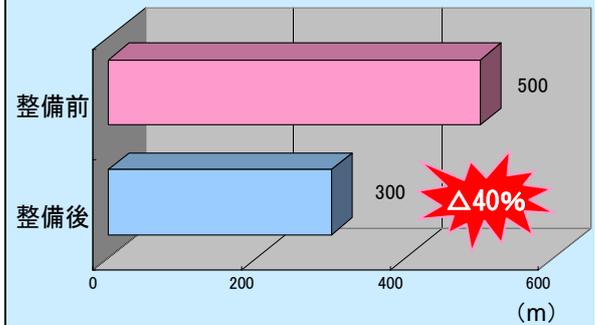
■ 現道交通量の変化



効果2 花見交差点の渋滞緩和

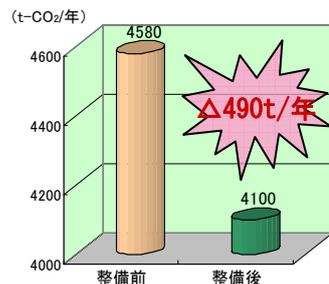
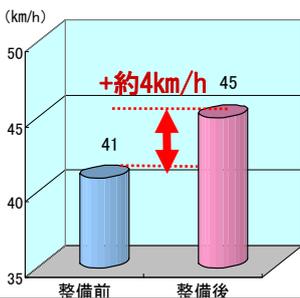
- バイパス区間の整備により国道の直角曲がりが無くなり、花見交差点の渋滞が緩和されました。

■ 渋滞長の変化(花見交差点) 【宮崎市街地⇒宮崎市高岡町】



効果3 自動車の走行速度が向上

- 直角曲がりの解消等により、走行速度が約4km/h向上しました。(調査日「整備前:H19.2.6」、「整備後:H19.3.29」)
- 走行性向上により、自動車が排出する二酸化炭素の量が年間約490t-CO₂削減されました。
〔この削減量は、森林面積約46ha(オーシャンドームの約13倍に相当)が吸収する二酸化炭素量に相当します。〕



整備前:H19. 2. 6 (火) 測定結果
整備後:H19. 3. 29 (木) 測定結果

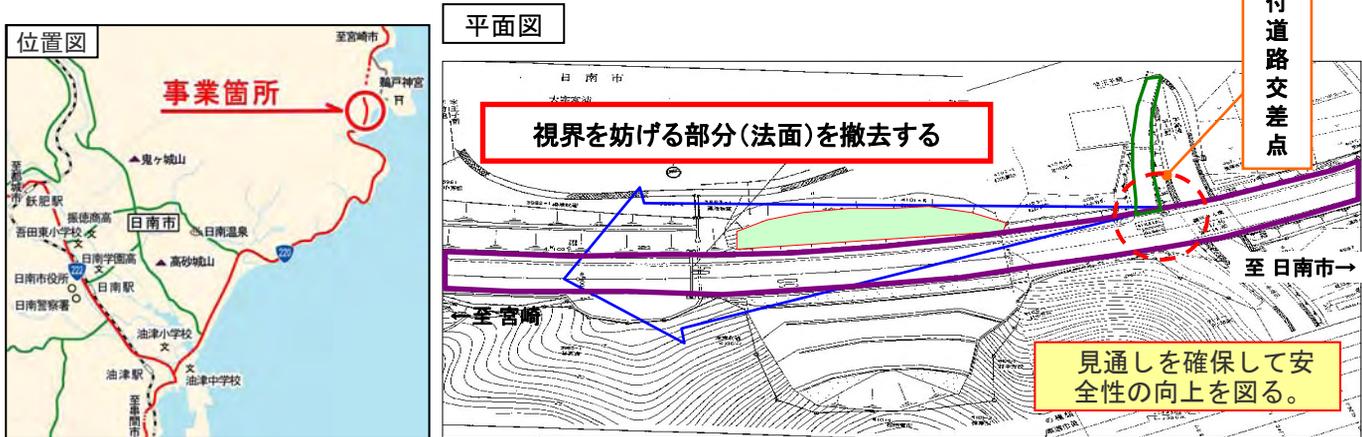
国道220号 日南市 宮浦視距改良【H18.12.22完成供用】

事業概要

- ・当該区間は、国道220号を日南市に向かってトンネル～緩やかなカーブ区間となっており、縦断勾配も下り傾斜しているため、比較的スピードの出やすい区間となっていました。
- ・カーブ区間に国道と地元の集落を結ぶ取付道路の交差点があり、見通しが悪く出入りが非常に危険な状況となっていました。
- ・この状況を改善するため、視界不良対策に着手し、平成18年12月22日に供用しました。

整備内容

- ・出入り口の視界を妨げる部分（法面）を撤去しました。



整備効果

交通安全性の向上

- ・視界を妨げる部分（法面）を撤去することにより、出入り口の見通しが改善され、交通事故の削減が期待されます。

対策前



対策後



見通しを確保し、交差点の安全性を確保しました！

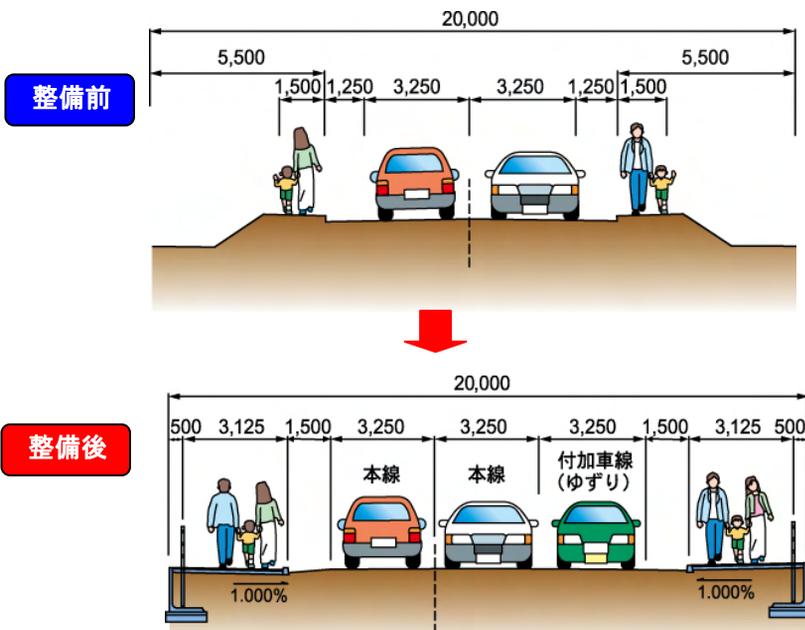
国道10号 児湯郡都農町 都農付加車線・自歩道設置 【H18. 8. 29完成供用】

事業概要

- ・当該区間の国道10号は、2車線道路で追い越し禁止区間が長く続き、低速車に対する追い越しができない状況となっていました。
- ・また近隣には、小学校や商業施設等が点在しているが、歩道狭小により歩行者・自転車の通行に支障をきたしている状況となっていました。
- ・このような状況を改善するため、付加車線の設置及び歩道拡幅L=260mを着手し、平成18年8月29日に供用しました。

整備内容

- ・付加車線（ゆずり車線）を設置し、既設歩道の拡幅を行いました。



整備効果

交通安全性の向上

- ・付加車線（ゆずり車線）の設置で、後続車のイライラ運転による事故等の防止し、交通流の円滑化が期待されます。

安全・安心な歩行空間の確保

- ・既設歩道を拡幅したことにより、安全で快適な通学路等の歩行空間を確保することが出来ました。

整備前



整備後



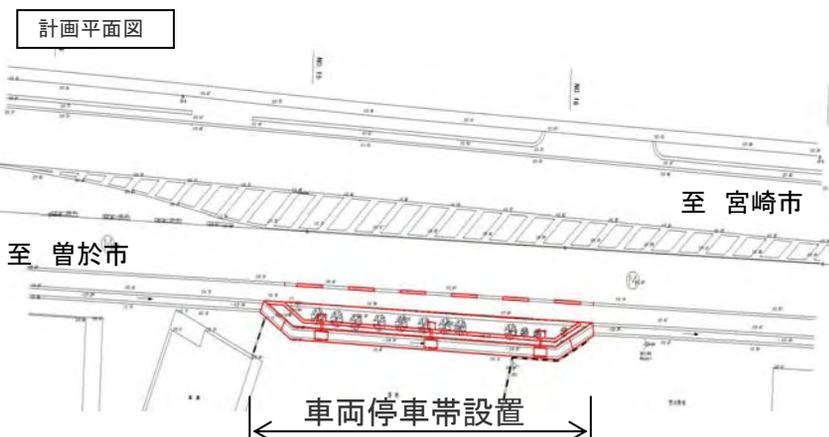
国道10号 都城市高城町石山 石山車両停車帯 【H18.12.18 完成供用】

事業概要

- ・当該箇所は、車両停車帯がないことから、移動バスの停車による後続車の渋滞や歩道がないことから、バス利用者や歩行者が危険な状態で通行をせざるを得ない状況となっていました。
- ・このような状況を改善するため、車両停車帯設置等に着手し、平成18年12月18日に供用しました。

整備内容

- ・道路区域内の植栽帯を撤去し、車両停車帯を設置しました。
- ・また既設側溝蓋の改修を行いました。



整備効果

交通安全性の向上

- ・車両停車帯の設置で、バス停車による後続車の渋滞等を防止し、交通流の円滑化が期待されます。

安全・安心な歩行空間の確保

- ・側溝蓋の改修及び植栽帯を撤去することで、バス乗降時やバス停までの歩行空間が確保されました。

対策前



対策後



国道220号 中村恒久地区電線共同溝 【H19. 2. 28供用】

■事業概要

- ・平成15年度より、国道220号中村交差点から新横町交差点までの570mにおいて、電線類（電力・通信）の地中化を行いました。
- ・道路空間から、電柱・電線が無くなり、障害物を大幅に減少させることにより、「道路景観の向上」、「バリアフリー対策」や「ライフラインの強化」を図ることができました。

■整備効果

効果1 道路景観の向上

- ・地上に張り巡らされた電線や電柱が無くなることにより、青空が広がるとともに町並みがすっきりと美しくなりました。



施工前



施工後

効果2 バリアフリー対策

- ・電柱による歩道内の障害物が無くなり、歩道が広く使用できるようになり、また段差解消も行ったことにより高齢者や車椅子、自転車などの通行もより安全で快適な歩行空間の確保ができました。

効果3 ライフラインの強化

- ・電線や電柱は台風や地震などの災害時に転倒や切断などの二次災害の原因となる危険があるが、地中化により、より安全になり災害に強くなりました。

九州の5年で見える道づくり

ちやく²プロジェクト

2006 / 2007

【ちやく²プロジェクト2007】



平成19年5月28日

国土交通省九州地方整備局

宮崎河川国道事務所 延岡河川国道事務所

九州の5年で見える道づくり

ちやく²プロジェクト

2006/2007

(箇所別目標一覧・位置図)

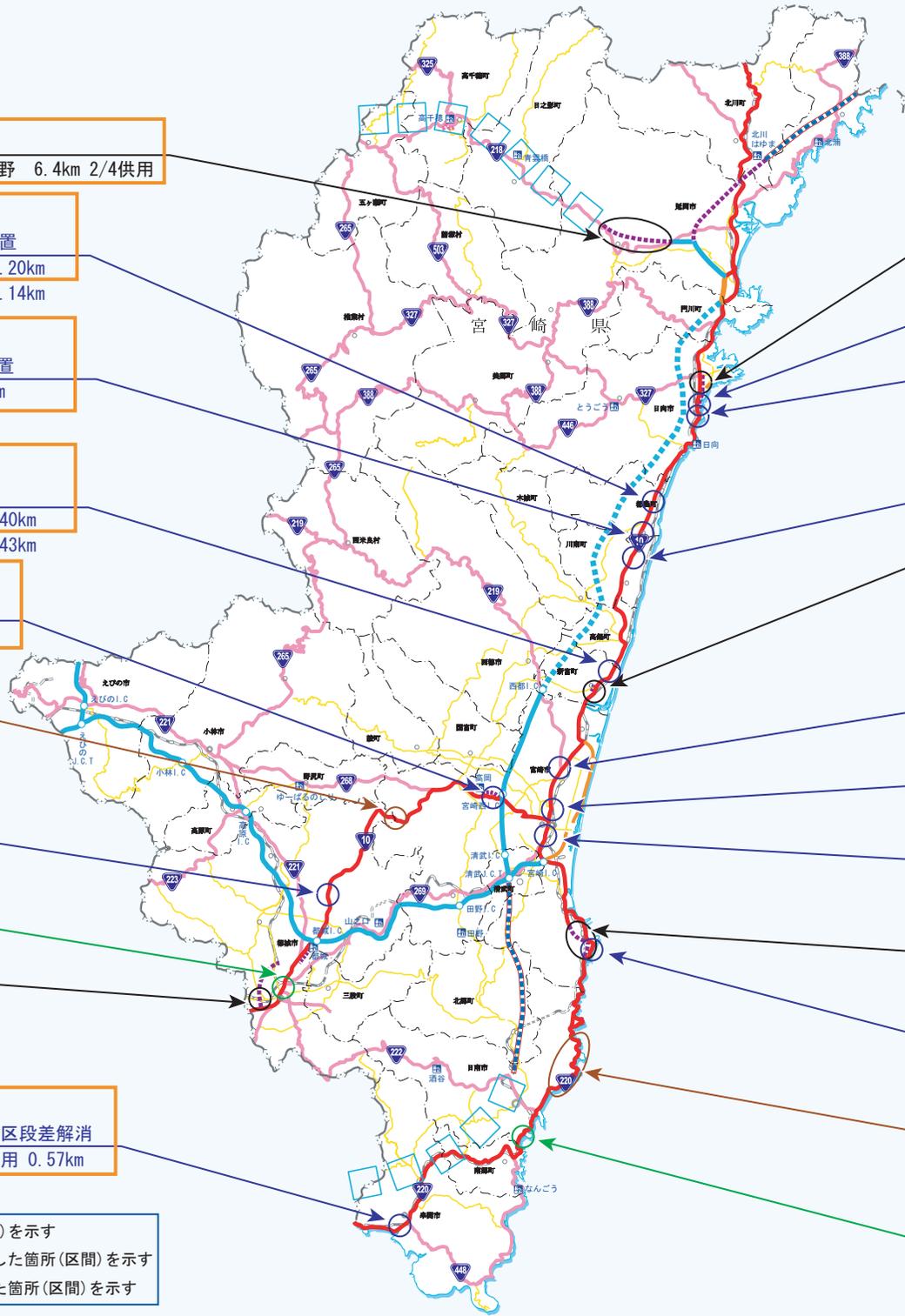


路線名	事業名	事業区間	延長	平成19～23年度の供用目標		事業効果	平成19年度の執行目標	担当事務所
改築事業								
国道10号	門川日向拡幅	東臼杵郡門川町～日向市大字平岩	12.8km	H19年度 新生町交差点付近（延伸） (H18年度末4/4車線供用済 L=10.1km)	0.4km 4/4車線供用 (4車線拡幅)	・交通混雑の緩和 ・主要渋滞ポイントの解消 ・事故危険箇所の改善	・新生町交差点付近（延伸） L=0.4km 4/4車線供用	延岡河川国道 〔宮-1〕
国道10号	新富バイパス	児湯郡新富町～宮崎市佐土原町	4.8km	H19年度 軍瀬交差点付近 H21年度 児湯郡新富町（田中地区） (H18年度末2/2車線供用済 L=2.4km)	0.6km 4/4車線供用 (4車線拡幅) 0.8km 4/4車線供用 (4車線拡幅)	・新富町～宮崎市の交通混雑解消 ・主要渋滞ポイント「軍瀬交差点」の交通渋滞解消 ・時間短縮効果 約14万人時間/年	「H19供用区間」 ・用地取得完了 ・軍瀬交差点付近 L=0.6km 4/4車線供用 「H21供用区間」 ・用地取得率68%	宮崎河川国道 〔宮-2〕
国道10号	都城道路	都城市乙房町～同市五十町	7.7km	H21年度 都城市平塚町～同市五十町	1.9km 2/4車線供用	・都城市～志布志間の物流の効率化 ・都城市街地の交通混雑解消と道路冠水箇所の迂回路確保	・用地取得率95% ・埋蔵文化財調査促進68% ・平塚橋下部工完成	宮崎河川国道 〔宮-3〕
国道218号	九州横断自動車道延岡線関連北方延岡道路	延岡市北方町～延岡市天下町	13.1km	H19年度 北方IC～舞野 (H18年度末2/4車線供用済 L=2.1km)	6.4km 2/4車線供用	・緊急輸送道路1次ネットワークの機能確保 ・所要時間短縮 ・延岡市と周辺地域の連携強化 ・時間短縮効果 約22万人時間/年	・北方IC～舞野 L=6.4km区間 2/4車線供用	延岡河川国道 〔宮-4〕
国道220号	青島～日南改良	宮崎市加江田～日南市風田	23.5km	H19年度 宮崎市折生迫～同市内海	2.8km 2/2車線供用	・堀切峠付近の事前通行規制区間(L=2.9km)の解消 ・線形不良箇所（3箇所）の回避 ・時間短縮効果 約15万人時間/年	・宮崎市折生迫～同市内海 L=2.8km 2/2車線供用	宮崎河川国道 〔宮-5〕
交通安全事業								
国道10号	土々呂毛地区段差解消	日向市大字平岩	0.50km	change! H19年度供用	0.50km 段差解消	・平岩小学校、岩脇中学校、日向工業高校へ通う歩道のデコボコを解消することで、通学、帰宅時や地域住民の方が安心して快適な通行が実現	・工事完成 0.50km供用	延岡河川国道
new! 国道10号	土々呂毛歩道整備（段差解消）	日向市大字平岩字土々呂毛	0.60km	H19年度供用	0.60km 全区間供用	・平岩小学校、岩脇中学校、日向工業高校へ通う歩道のデコボコを解消することで、通学、帰宅時や地域住民の方が安心して快適な通行が実現	・工事完成 0.60km供用	延岡河川国道
new! 国道10号	境ヶ谷自歩道設置	児湯郡都農町境ヶ谷	0.34km	H19年度一部供用 H20年度供用	0.20km 一部区間供用 0.14km 全区間供用	・歩道を設けることで、歩行者、自転車が安心して快適な通行が実現 ・通学路区間の安全の向上を図る。	「H19供用区間」 ・一部区間供用 L=0.20km 「H20供用区間」 ・用地取得完了	宮崎河川国道
new! 国道10号	新別府自歩道設置	児湯郡都農町新別府	0.10km	H19年度供用	0.10km 全区間供用	・歩道を設けることで、歩行者、自転車が安心して快適な通行が実現 ・通学路区間の安全の向上を図る。	・工事完成 0.10km供用	宮崎河川国道
国道10号	川南付加車線・自歩道設置	児湯郡川南町大字川南	0.72km	change! H19年度供用	0.72km 全区間供用	・歩道を設けることで、歩行者、自転車が安心して快適な通行が実現 ・付加車線を設けることで、交通流をスムーズにし、周辺環境の改善	・工事完成 0.72km供用	宮崎河川国道

路線名	事業名	事業区間	延長	平成19～23年度の供用目標		事業効果	平成19年度の執行目標	担当事務所
交通安全事業								
new! 国道10号	日置 自歩道設置	児湯郡新富町日置	0.83km	H19年度一部供用 H20年度供用	0.40km 一部区間供用 0.43km 全区間供用	・歩道を設けることで、歩行者、自転車が安心して快適な通行が実現 ・通学路区間の安全の向上を図る。	「H19供用区間」 ・一部区間供用 L=0.40km 「H20供用区間」 ・用地取得完了	宮崎河川国道
国道10号	新名爪 交差点改良	宮崎市新名爪 (新名爪交差点)	1箇所	change! H19年度完成	1箇所 全区間完成	・路面表示（カラー化）により交通事故防止	・交差点改良完成	宮崎河川国道
国道10号	江平1丁目 交差点改良	宮崎市江平1丁目 (江平1丁目交差点)	1箇所	change! H19年度完成	1箇所 全区間完成	・路面表示（カラー化）により交通事故防止	・交差点改良完成	宮崎河川国道
new! 国道10号	上富吉 交差点改良	宮崎市上富吉 (上富吉交差点)	1箇所	H19年度完成	1箇所 全区間完成	・交差点形状の変更により事故防止を図る。	・交差点改良完成	宮崎河川国道
new! 国道10号	片前 自歩道設置	都城市高城町片前	0.56km	H19年度供用	0.56km 全区間供用	・歩道を設けることで、歩行者、自転車が安心して快適な通行が実現 ・通学路区間の安全の向上を図る。	・工事完成 0.56km供用	宮崎河川国道
国道220号	上恒久 交差点改良	宮崎市上恒久 (上恒久交差点)	1箇所	change! H19年度完成	1箇所 全区間完成	・路面表示（カラー化）により交通事故防止	・交差点改良完成	宮崎河川国道
new! 国道220号	内海地区 段差解消	宮崎市内海	0.15km	H19年度供用	0.15km 段差解消	・歩道の段差を解消することで、歩行者、自転車が安心して快適な通行が実現 ・通学路区間の安全の向上を図る。	・工事完成 0.15km供用	宮崎河川国道
new! 国道220号	西方地区 段差解消	串間市西方	0.57km	H19年度供用	0.57km 段差解消	・歩道の段差を解消することで、歩行者、自転車が安心して快適な通行が実現 ・通学路区間の安全の向上を図る。	・工事完成 0.57km供用	宮崎河川国道
電線共同溝事業								
国道10号	上町地区	都城市上町～ 都城市姫城町	0.6km (両側)	H19年度	無電柱化完了	・都城市上町地区の通学エリアにおけるバリアフリー化による安全で快適な歩行空間の確保及び防災機能の向上	・無電柱化完了	宮崎河川国道
国道220号	春日地区	日南市春日町	0.8km (両側)	H19年度	無電柱化完了	・日南市春日地区の通学エリアにおけるバリアフリー化による安全で快適な歩行空間の確保及び防災機能の向上	・無電柱化完了	宮崎河川国道

路線名	事業名	事業区間	延長	平成19～23年度の供用目標	事業効果	平成19年度の執行目標	担当事務所	
防災対策事業								
国道10号	四家地区 防災対策	宮崎市高岡町内山～ 都城市高城町本八重	1.5km	H19年度 四家地区完了 〔H19年度1箇所防災工事完了〕	四家地区の異常気象時通行規制区間 （連続雨量200mm）の基準緩和又は規 制解除	・要対策箇所のうち1箇所完了	宮崎河川国道	
国道220号	宮崎～ 日南③地区 防災対策	宮崎県日南市宮浦～ 日南市風田	11.2km	H19年度 宮崎～日南③地区完了 〔H17～H18年度未対策済 7箇所、 H19年度16箇所防災工事完了 ※照査により6箇所は対策不要〕	宮浦・風田地区の異常気象時通行規制 区間（連続雨量170mm）の基準緩和又 は規制解除	・要対策箇所のうち16箇所完了	宮崎河川国道	
震災対策事業								
宮崎県内の 直轄国道	耐震補強	宮崎県内の耐震補強	64橋	H19年度 11橋完了 (H17～H18年度未対策済 53橋) ※照査により18橋は対策不要	緊急輸送道路の橋梁耐震補強3箇 年プログラム対象橋梁の耐震工事 完了	阪神大震災規模の地震に対して落橋等 の甚大な被害を防止し緊急輸送道路と しての機能を確保	・耐震対策 11橋完了	宮崎河川国道 延岡河川国道

宮崎県



北方延岡道路
H19 北方IC~舞野 6.4km 2/4供用

new!
境ヶ谷自歩道設置
H19 一部供用 0.20km
H20 供用 0.14km

new!
新別府自歩道設置
H19 供用 0.10km

new!
日置自歩道設置
H19 一部供用 0.40km
H20 供用 0.43km

new!
上富吉交差点改良
H19 完成

防災事業
H19 完了 四家地区

new!
片前自歩道設置
H19 供用 0.56km

無電柱化事業
H19 完了 上町地区

都城道路
H21 都城市平塚町~同市五十町
1.9km 2/4供用

new!
西方地区段差解消
H19 供用 0.57km

門川日向拡幅
H19 新生町交差点付近(延伸)
0.4km 4/4供用 (4車線拡幅)

new!
土々呂毛歩道整備(段差解消)
H19 供用 0.60km

change!
土々呂毛地区段差解消
H19 供用 0.50km

change!
川南付加車線・自歩道設置
H19 供用 0.72km

新富バイパス
H19 軍瀬交差点付近 0.6km 4/4供用 (4車線拡幅)
H21 児湯郡新富町(田中地区) 0.8km 4/4供用 (4車線拡幅)

change!
新名爪交差点改良
H19 完成

change!
江平1丁目交差点改良
H19 完成

change!
上恒久交差点改良
H19 完成

青島~日南改良
H19 宮崎市折生迫~同市内海 2.8km 2/2供用

new!
内海地区段差解消
H19 完成 0.15km

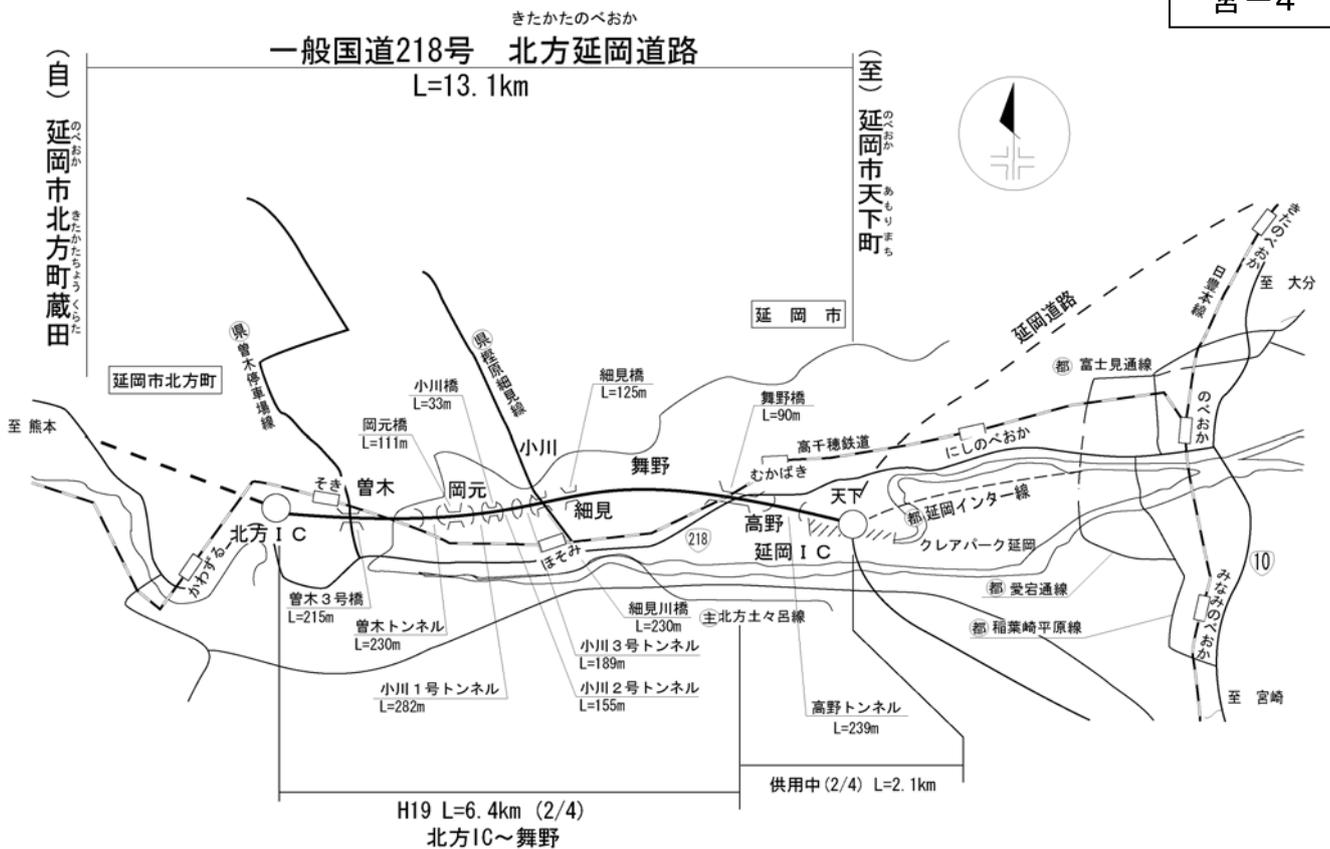
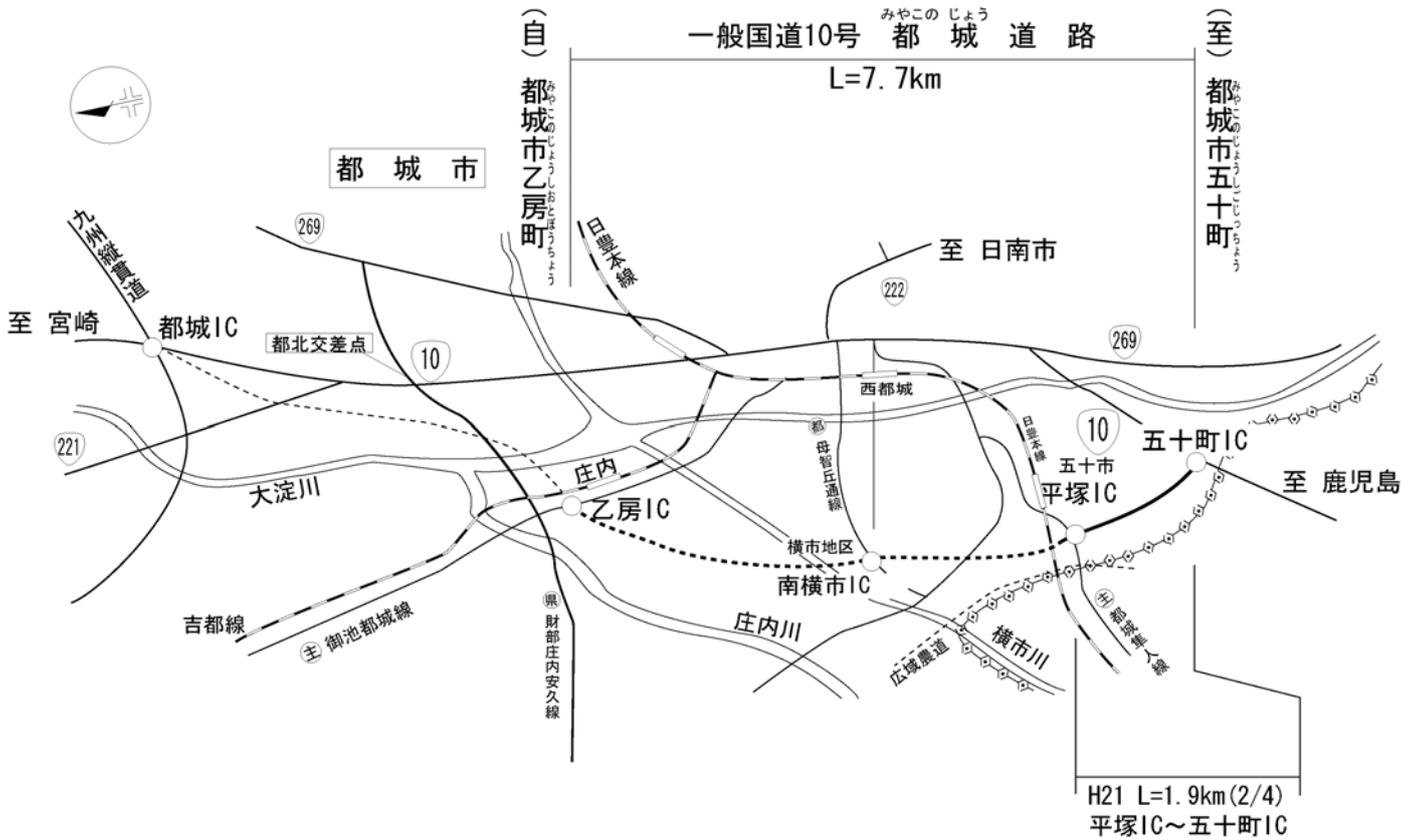
防災事業
H19 完了 宮崎~日南③地区

無電柱化事業
H19 完了 春日地区

□ : H19供用目標箇所

黒字は改築事業
青字は交通安全事業
緑字は地中化事業
茶字は防災事業

new! : ちやくプロ2007における新規公表箇所(区間)を示す
change! : ちやくプロ2007において供用目標を前倒した箇所(区間)を示す
change! : ちやくプロ2007において供用目標を遅らせた箇所(区間)を示す

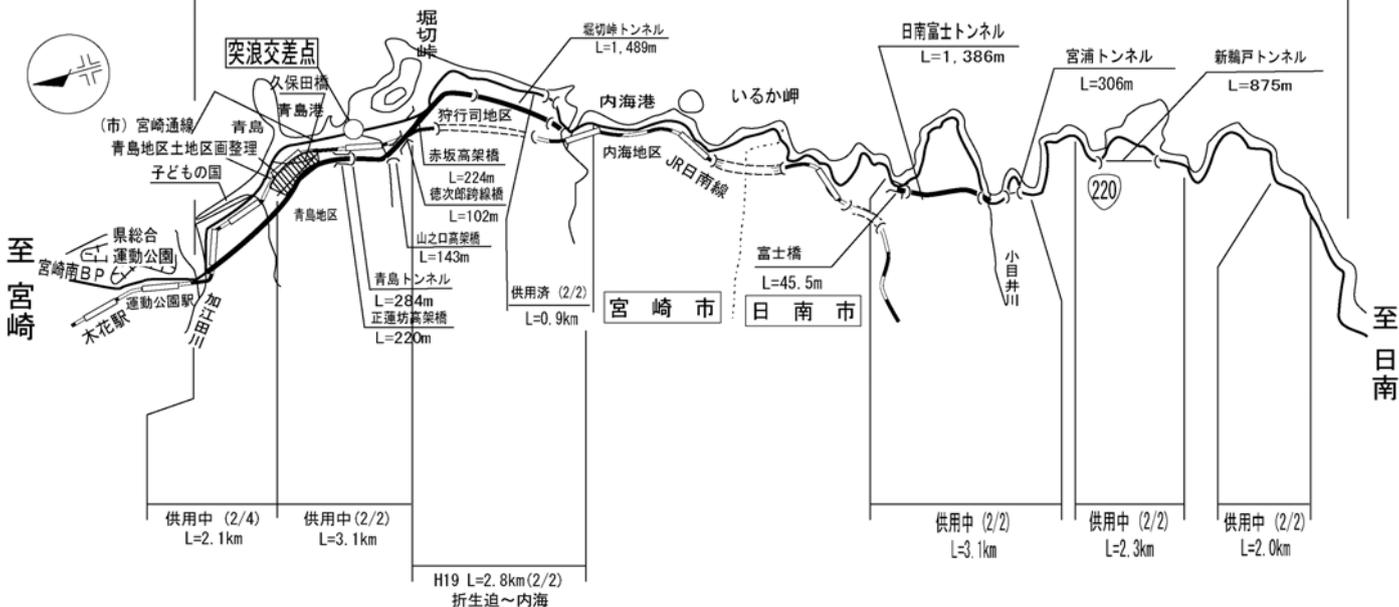


あおしま にちなん
一般国道220号 青島～日南改良

L=23.5km

(自) 宮崎市大字加江田

(至) 日南市大字風田



九州の5年で見える道づくり

ちやく²プロジェクト

2006/2007

(プロジェクト事例)



かどがわひゅうが
国道10号 門川日向拡幅
 ひがしうすきぐんかどがわちようさかわ ひゅうが ひらいわ
 (宮崎県東臼杵郡門川町草川～日向市大字平岩)

- 門川日向拡幅(塩見大橋～長江交差点L=0.4km)は平成19年度の供用を目指します。
- 主要渋滞ポイントである『新生町交差点』において、早急に渋滞緩和を図るため、早期部分供用を図ります。
- 多車線化により交通の流れがスムーズになる事で、事故危険箇所の解消を図ります。



■財光寺地区施工状況



■財光寺地区混雑状況

1. 早期供用の工夫

主要渋滞ポイントである『新生町交差点』の渋滞を早期に緩和するため、短い区間毎に供用を開始し、早期に効果を発現する工夫をしています。

2. 執行目標

	平成19年度の目標	供用目標
新生町交差点付近(延伸)	0.4km区間 4/4車線供用	平成19年度

3. 整備効果

●主要渋滞ポイントの混雑緩和及び事故危険箇所の解消

多車線化により交通の流れがスムーズになった事で主要渋滞ポイントである『新生町交差点』の渋滞が緩和されます。また、それに伴い事故危険箇所である『長江交差点』についても安全性の向上が期待されます。

●時間短縮による効果 【時間短縮効果 約4万人時間/年】

混雑解消により今回供用区間前後の10号線を走行する際の所要時間が短縮される事から当該市街地での利便性向上に寄与します。

●CO₂の排出抑制【約130t-CO₂/年削減】

走行性の向上により自動車からの二酸化炭素排出量が約133t-CO₂/年削減されます。この削減量は、オーシャンドーム約3個分にあたる森林面積(約13ha)の吸収量に相当します。

国道10号 ^{しんとみ}新富バイパス

こゆぐんしんとみちよう ひおき みやざき さどわらちよう しもたじま
 (宮崎県児湯郡新富町大字日置～宮崎県宮崎市佐土原町大字下田島)

○軍瀬交差点部(0.6km)は平成 19 年度の4車化供用、田中地区(0.8km)は、平成21年度の4車化供用を目指します。

軍瀬交差点の渋滞解消と利用者の安全性向上を図ります。

○建設発生土の有効利用を行うことで約0.6億円のコスト縮減を図ります。



1. コスト縮減の工夫

新富バイパスでは、他事業における建設発生土の有効利用をすることにより約0.6億円のコスト縮減が見込まれます。

2. 執行目標

	平成19年度の目標	供用目標
軍瀬交差点	用地取得完了 L=0.6km 4/4車線供用	平成19年度
田中地区	用地取得率68%	平成21年度

3. 整備効果

●時間短縮効果【約14万人時間/年】

新富バイパス(軍瀬交差点部、田中地区)の供用により、交通環境が改善され、所要時間が年間約14万人時間軽減されます。

●CO2排出量削減効果【約420t-CO2/年】

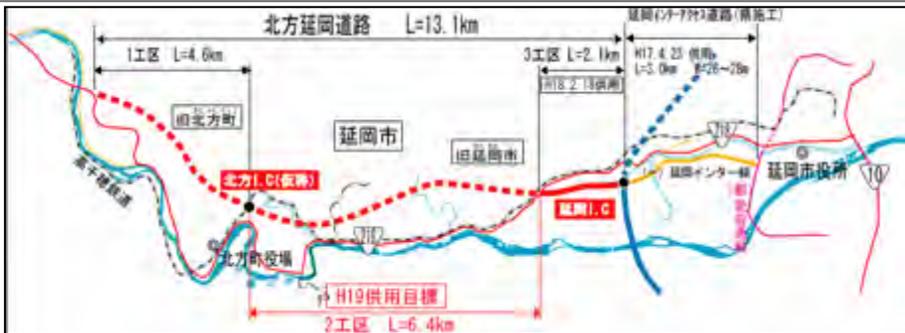
走行性の向上により、自動車からの二酸化炭素の排出量が約420t-CO2/年削減されます。この削減量は、オーシャドーム約10個分にあたる森林面積(約40ha)の吸収量に相当します。

●交通混雑の解消

主要渋滞ポイントである「軍瀬交差点」の渋滞が解消されます。

きたかた のべおか
国道218号 北方延岡道路
 のべおか きたかた のべおか あもり
 (宮崎県延岡市北方町～延岡市天下町)

- 北方延岡道路(北方IC～舞野間L=6.4km)は平成19年度の供用を目指します。
 災害時における国道218号の代替路として機能します。また、延岡市以西地域からのアクセス性の向上が期待されます。
- インターチェンジの構造変更により、建設コスト約7.7億円縮減が見込まれます。



■北方延岡道路施工状況



■国道218号 冠水状況

■平成17年9月の台風14号における通行止め状況

1. コスト縮減の工夫

走行性・安全性を確保した上で、北方ICの構造をトランペット型IC(立体交差)から平面Y型IC(平面交差)に変更する事で、約7.7億円のコスト縮減が見込まれます。

2. 執行目標

	平成19年度の目標	供用目標
北方IC～舞野	6.4km区間 2/4車線供用	平成19年度

3. 整備効果

●代替路線としての機能

平成17年に発生した台風14号のような災害時において、国道218号線の代替路線となり、県北地域と熊本方面を結ぶ唯一の緊急輸送路1次ネットワークとしての機能を確保します。

●時間短縮による効果 【時間短縮効果 約22万人時間/年】

二次生活圏中心都市である延岡市までの所要時間が、国道218号利用に比べ約半分に短縮される事から、延岡以西地域とのアクセス性が向上すると共に3次医療施設への所要時間が約15分短縮され、救命率の向上等住民の安心・安全が確保されます。

●CO₂の排出抑制【約1,380t-CO₂/年削減】

走行性の向上により自動車からの二酸化炭素排出量が約1,380t-CO₂/年削減されます。この削減量はオーシャンドーム約33個分にあたる森林面積(約130ha)の吸収量に相当します。

あおしま になん
国道220号 青島～日南改良
 みやざき かえだ になん かせた
 (宮崎県宮崎市大字加江田～宮崎県日南市大字風田)

- 青島～日南改良(折生迫～内海 L=2.8km)は、平成19年度の供用を目指します。異常気象時における通行規制区間(連続雨量170mm以上)の解消及び交通安全の確保に貢献します。
- 堀切峠トンネルの断面縮小、構造見直し等により約2億円のコスト縮減を図ります。



1. コスト縮減の工夫

青島～日南改良では、堀切峠トンネルの断面縮小、構造の見直し及び建設発生土の有効利用を行うことにより約2億円のコスト縮減が見込まれます。

2. 執行目標

	平成19年度の目標	供用目標
折生迫～内海	L=2.8km 2/2車線供用	平成19年度

3. 整備効果

●**安心、安全な暮らしを支援**

堀切峠トンネルの開通により、事前通行規制区間 L=2.9kmの規制区間が解消され、約20時間/年、11回(5箇年)の通行規制が解消されます。

さらに、線形不良箇所(3箇所)が解消され、走行性・安全性が向上します。

●**時間短縮効果【約15万人時間/年】**

日南市から拠点都市である宮崎市までの走行性が向上することにより、節約時間約15万人時間/年が節約されます。

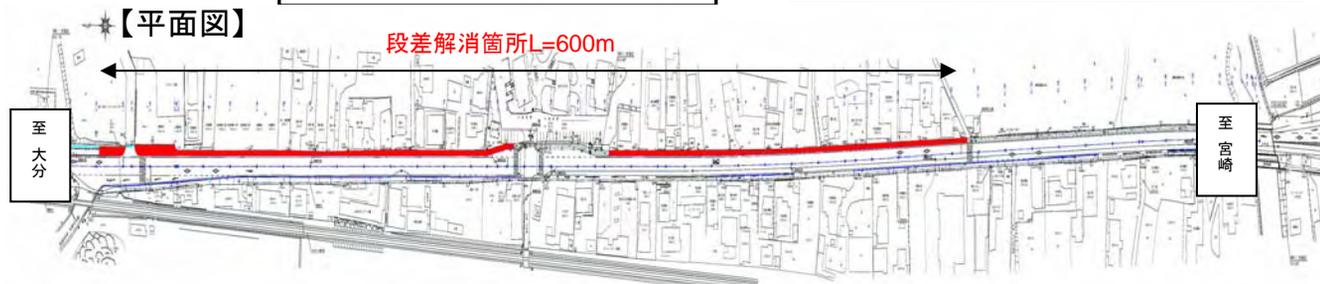
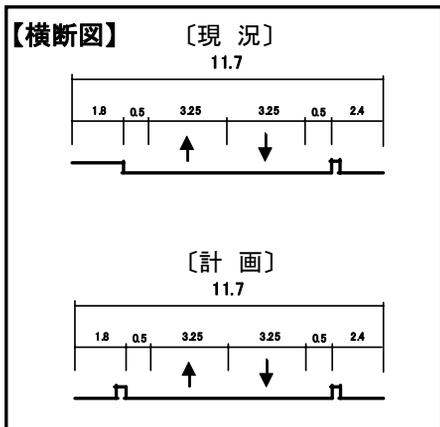
●**CO2排出量削減効果【約1,250t-CO2/年】**

走行性の向上により自動車からの二酸化炭素排出量が約1,250t-CO2/年削減されます。この削減量は、オーシャンドーム約30個分にあたる森林面積(約120ha)の吸収量に相当します。

ととろげ 国道10号 土々呂毛歩道整備（段差解消）

ひゅうが ひらいわ
（宮崎県日向市大字平岩）

○歩道のデコボコを解消することで、安全・安心な通学路、歩行空間を確保します。H19年度供用を目指します。



1. 事業概要

当該箇所は、歩道の波打ちやデコボコが著しく、児童や高齢者をはじめとして通行に危険な状態です。このため、既設歩道の段差解消を図ります。

2. 執行目標

	平成19年度の目標	供用目標
日向市大字平岩	工事完成 0.60km供用	平成19年度

3. 整備効果

●通学路の安全確保

歩道のデコボコを解消することで、通学、帰宅時や地域住民の方が安全・快適な通行が実現します。

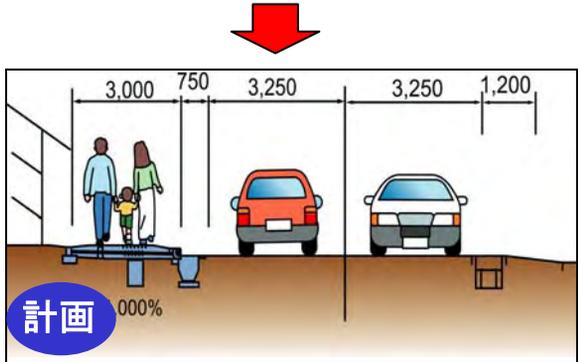
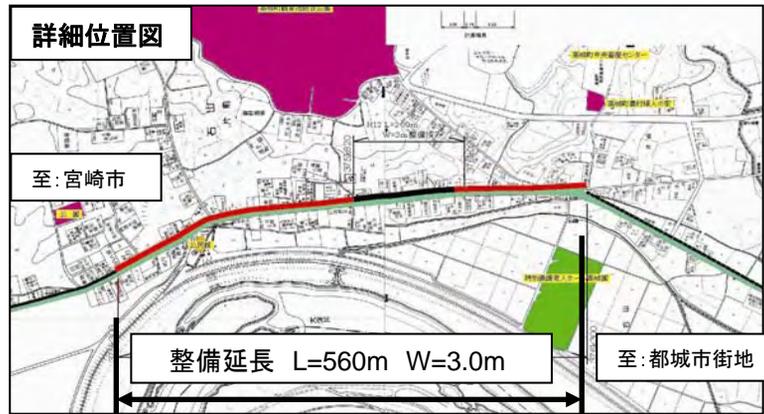
国道10号 片前自歩道設置

かた まえ
みやこのじょうたかじょうちよう かたまえ
(宮崎県都城市高城町片前)

○歩道狭隘区間を整備し、安全・安心な通学路、歩行空間を確保します。
H19年度供用(一部)を目指します。



歩行者を避けるため、
大型車が対向車線
にはみ出しています。



1. 事業概要

当該箇所は、近隣の小学校や老人ホーム等があるため、利用者の多い歩道となっていますが、歩道が狭いため、歩行者・自転車利用者等と通行車両が接近し、非常に危険な状況です。このため、幅員3.0mの自歩道を設置します。

2. 執行目標

	平成19年度の目標	供用目標
都城市高城町片前	工事完成 0.56Km供用	平成19年度

3. 整備効果

●通学児童や歩行者への安全確保

自歩道を整備することで、通学児童をはじめ、歩行者・自転車利用者等の安全・安心な通行が確保されます。

かすが
国道220号 春日地区電線共同溝
にちなん かすがまち
 (宮崎県日南市春日町)

- 国道220号見法寺交差点から春日交差点までの400mにおいて、電線類(電力・通信)の地中化を行います。
- 道路空間から、電柱・電線が無くなり、障害物を大幅に減少させることにより、「道路景観の向上」、「バリアフリー対策」や「ライフラインの強化」を図ります。
- 当該箇所の無電柱化は平成19年度に完了します。



施工前



施工後(完成予想図)



1. 早期供用とコスト縮減の工夫

埋設方式の変更	従来工法を、浅層埋設方式に変更することにより、土工、仮設工を削減することが可能となり、約2割のコスト縮減が期待されます。
---------	--

2. 執行目標

	平成19年度の目標	供用目標
春日地区	無電柱化完了	平成19年度

3. 整備効果

- 効果1 都市災害防止**
 - ・台風などの災害による電柱倒壊・電線の切断で発生する二次災害を未然に防ぐことができます。
- 効果2 安全で快適な歩行空間の確保**
 - ・地中化とあわせて、道路整備を行ない、これとあわせて連続的なバリアフリー整備を行なうことができます。
- 効果3 都市景観の向上**
 - ・電線類を地中化することにより、地上に張り巡らされた電線や電柱が無くなることにより、都市景観が向上します。